



花火を安全に楽しむための 大切な約束を守りましょう

日本の夏の夜を彩る風物詩といえば、なんといっても花火ですね。各地で行われる打ち上げ花火大会はもちろんですが、家族で楽しむ花火も子どもたちの心に残る思い出になります。火事やけがをしないように、しっかりと約束を守って楽しみましょう。

はなびをする ときの やくそく



いちばん たいせつな やくそく！ はなびをする ときは
こどもだけで しない こと。かならず おうちの おとなの
ひとと いっしょに しようね。

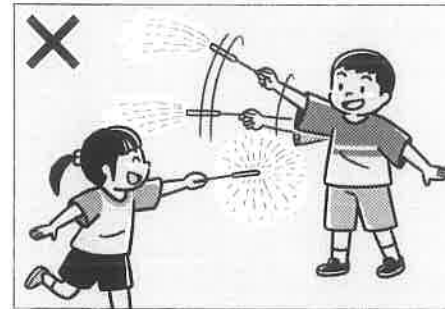
保護者の方へ 花火で遊ぶ時には、必ず保護者が立ち会いましょう。風の強さや方向、周囲に燃えやすいものがないかなどを、事前に確かめてください。花火に点火する時はマッチやライターなどではなく、倒れないように固定したろうそくの火で行います。手持ち花火を振り回したり、他人に向けたり、吹き出し花火をのそき込んだり、近づき過ぎたりすることのないように指導しましょう。終わった花火は、バケツにためた水につけて確実に消します。一晩ほど水につけた後、各自治体で定められたルールに従って捨ててください。



かぜの つよい ときには
はなびを しない。



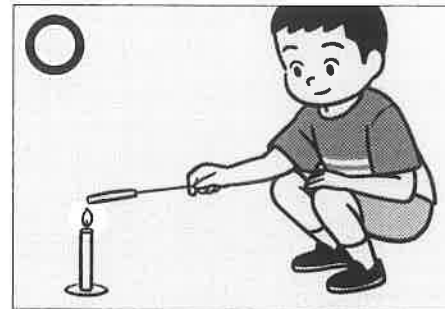
もえやすい ものの
そばでは しない。



ほかの ひとに むけたり
ふりまわしたり しない。



はなびを のそきこんだり
ちかよりすぎたり しない。



ひを つける ときには
ろうそくの ひで つける。



終わった はなびは みずに
つけて しっかり けす。

9月号では「バスに乗る時の注意」について取り上げます。